

広島県都市計画審議会 第3回都市政策部会の議事概要について

本県における、都市計画制度の運用の基本的な考え方を示す、広島県都市計画制度運用方針の見直しにあたり専門的な検討を行うため、平成30年11月7日（水）に開催した「広島県都市計画審議会 第3回都市政策部会」の議事概要は次のとおりです。

1 広島県都市計画審議会 第3回都市政策部会の概要

議論の内容：具体の制度運用について

（全体、コンパクト+ネットワーク型の都市、安全・安心に暮らせる都市）

2 委員からの主な意見

- ・（目指す都市の将来像の目標年次が明記されていないので）目標年次はぶれないよう設定すべき。20年先を想定して議論するのと、5年先の議論をするのでは違うと思う。
- ・5つの将来像毎にそれぞれ案が出ているが、相互に関係するところもあるので、表現を検討してもらいたい。
- ・現在ある制度については整理されているが、今の制度でできないことを「新たに求める制度」として頭出しし、議論の中で必要性・効果を取りまとめてはどうか。広島県の独自性も出る。
- ・目指す都市像を踏まえた基本的な考え方を記載するべきではないか。
- ・土地利用の誘導規制について、都市計画法の中だけでなく、防災の観点から、土砂災害防止法等の関連する他法令による規制についても記載してはどうか。
- ・住民にわかりやすいものとするため、優しい言葉や事例を加えるなど、最終的に作ってほしい。
- ・（都市政策を実現するための）財源目途について記載してはどうか。
- ・都市生活を送る上で企業活動は重要であり、事業継続計画、特に災害時や復興時について、都市計画と一緒に考えていく必要がある。
- ・都市の将来像について、どのくらいのスパンでどこを見据えてやっているのか分からないので、そこを表現してもらいたい。
- ・立体的な用途地域について、地区計画等の活用で対応するとしても、強めに記載してもいいのではないか。
- ・市街化区域の拡大について、人口減少の中、原則禁止とし、市街化区域を拡大はしないということ強めに記載してもよいのではないか。
- ・市街地再開発事業について、事業が動かない時代背景を踏まえて（身の丈に合った）事業スキームを考慮しながら進めることを記載してはどうか。
- ・市街地にある老朽化した工業地帯の再生を図るような土地区画整理事業はないだろうか。
- ・コンパクトなまちづくりに向けて都市施設の計画的な整備は当然として、計画的な廃止や見直しなども有り得ると思うので、記載が必要ではないか。
- ・都市の郊外化抑制のための規制強化について、市町主体では地元との関係もあり難しいことがある。県は、市町の意見を聞くだけでなく、市町に代わり規制強化を行うなど、広域行政として思い切った対応を行ってはどうか。
- ・既成市街地における対策について、敷地嵩上げなど住民合意による地区計画を使うことができるので、加えてもらいたい。